

2023年5月25日
国立大学法人 東京大学
インペリアル・カレッジ・ロンドン

インペリアル・カレッジ・ロンドンと東京大学がクリーンテックで連携 —インペリアルカレッジロンドンと共同声明—

インペリアル・カレッジ・ロンドンと国立大学法人東京大学は、クリーンテック及びエネルギー研究のため、新たな連携を構築すると発表しました。

このパートナーシップは、広島で開催される G7 サミットに先立って開催された日英ビジネスフォーラムにて、リシ・スナク英国首相によって発表されました。

これは、両機関がそれぞれ株式会社日立製作所と実施している気候変動対策やエネルギーシステムに関する産学協創関係に立脚しています。

G7 サミットに先立ち、インペリアル・カレッジ・ロンドンおよび東京大学の学長が、日立製作所の取締役会長および執行役常務 CTO の立会いのもと、合意書に署名しました。

3 者はいずれも、持続可能な社会を実現し、汚染の無い地球環境への移行を加速させるという共通の目標を目指しています。

今回の連携により、インペリアル・カレッジ・ロンドンと東京大学は、エネルギー、脱炭素化、気候変動対策などの分野における研究プロジェクトや新しい技術について緊密に連携することになります。

この 2 大学は、世界をリードする産学官その他の関係者を巻き込んでブレークスルーを起こし、地球規模の課題解決をより早く実現することを目指します。

今週初め、英国と日本は、イノベーションとゲームチェンジをもたらす新技術に焦点を当てた科学技術協定を更新しました。この協定は、最先端の新技術を市場に投入するための緊密な協力の機会を拡大するもので、クリーンテックなどの優先分野に焦点を当てることができます。

この画期的な戦略的関係は、日英両国のクリーンテックと持続可能性に関する研究にとって重要な前進となります。

英国科学技術省大臣のジョージ・フリーマン氏は、次のように述べています。：
「グローバルなコラボレーションを通じて科学技術を活用することが、地球が直面する最も差し迫った課題を解決する鍵です。そのため、私は、先週東京で開催された G7 科学サミットで新しい科学技術協力協定に署名した日本のような研究開発大国との戦略的協力を通じて、英国が世界に与える影響を示してきました。

科学技術分野で世界トップクラスの2大学であるインペリアル・カレッジ・ロンドンと東京大学が、クリーンテック技術を通じて気候変動に取り組むという、今回のパートナーシップは、日英連携のもう一つの側面であり、いかに科学技術を世界のために活用するかという、英国が世界の科学大国として果たす役割の一例でもあります。」

インペリアル・カレッジ・ロンドン学長のヒュー・ブレイディ教授は、次のように述べています：

「環境汚染と気候変動の脅威に対処することは、私たちが直面する最大のグローバル課題です。ネットゼロを達成するためには、経済、産業、社会の仕組みを大きく変えることが必要です。科学とイノベーションは、世界をこの目標に向かわせる上で重要な役割を担っています。クリーンテックにおけるこの画期的な新しいパートナーシップは、私たちを持続可能な未来に導く新しい発見とブレークスルーのきっかけとなり得るのです。」

東京大学総長の藤井輝夫教授は、次のように述べています：

「今回締結した戦略的関係は、エネルギー転換の推進を中心に据えています。我々は知を結集し、持続可能な社会の構築に向けてクリーンテック・イノベーションの創出を促進します。私たちのコラボレーションが、世界規模でより良い社会の実現に貢献することを確信しています。」

株式会社日立製作所執行役常務 CTO の西澤格氏は、次のように述べています：

「東京大学とインペリアル・カレッジ・ロンドンという、産業界との連携に実績のある2つの大学が、エネルギー転換に焦点を当てた戦略的関係を結ぶことは、大きな希望となります。「人類全体」の大きな課題の一つであるカーボンニュートラルの実現には、「社会全体」の包括的な移行が必要です。日立製作所は両大学と強い関係を築いており、この新しい試みに着手する際に、実りある有意義な協力関係を強化することに貢献できると考えています。」

インペリアル・カレッジ・ロンドンと東京大学は、科学研究とイノベーションの分野で長年にわたって協力し、成功を収めてきた歴史を持っています。両校は、過去5年間に500以上の共同研究論文を発表しています。

東京大学と日立製作所は、日立東大ラボを通じて、データ駆動型エネルギーシステムの変革やスマートシティをはじめとする幅広い分野で共同研究を行っています。

インペリアル・カレッジ・ロンドンと日立製作所は、脱炭素・自然気候ソリューションセンターを通じて、基礎および応用研究を行い、ネットゼロの未来を実現するための脱炭素化と気候変動対策の主要課題に取り組んでいます。

【本件に関する問い合わせ先】 産学協創部協創課協創推進チーム